

2022年1月20日

2021年度聖路加国際大学大学院看護学研究科  
課題研究

看護職へ向けた性の多様性についての教育教材の開発と評価

Development and Evaluation of a Video for Nurses about  
Gender Diverse and Sexual Minorities

20MW014

福井彩花

## 論文要旨

【目的】本研究の目的は、看護職者が、セクシュアルマイノリティに関する知識をもつことができ、医療現場でLGBTQ当事者への適切な支援を行うための教育教材を開発し、専門家から評価を得て、教育教材を精選させることである。

【方法】研究デザインは、看護職に向けた映像教育教材を開発し、評価する評価研究である。文献検討から内容を検討し、スライドを基にしたナレーション付映像教育教材を作成した。内容は性の多様性について、医療現場における問題や課題についての大きく2つのsectionで構成した。評価はGoogleフォームを用いて、医療施設に勤務する新人看護職4名、新人教育に経験のある看護職4名、LGBTQ当事者で看護職の2名の計10名より受けた。その後、評価により、修正点を抽出し、修正版映像教育教材を作成した。

【結果】映像教育教材全体としての適切性、映像教育教材の内容としての適切性、全体についての評価を得た。映像教育教材全体としての適切性の評価については全員が肯定的な評価を占めた。一部、見やすさについてスライドの文字量の指摘があった。内容の適切性については、section1の「性の多様性について」でLGBTQsや性の要素に関する知識や表現についての説明を行ったことで、section2の医療現場で当事者が抱える困難さや、適切な対応例への理解や関心が高まったとの評価があった。一方で、LGBTQ当事者への言葉の配慮や表現の適切性の指摘、また、スライドに提示した症例データは具体的な数値を示すことでより実態の理解に繋がるという指摘もあった。本教育教材は、医療従事者への研修としての活用は可能であるか、という項目に9割が肯定的な評価を示し、本研究の発展や臨床現場での実用性への期待があった。一方で、よりLGBTQsに関する文献検討を行い、それに応じた目的を立案し、教材作成に生かすことで更なる精選に繋がるという意見もあった。評価を受け修正点を抽出し、修正版の映像教育教材を作成した。映像画面の見やすさについては、内容は変更せず一部スライドのみ文字の大きさや量を減らし、イラストやアニメーションを増やす視覚的な工夫をした。教材の内容については、LGBTQsの表現方法や内容への指摘事項に対し、新たに文献検討を実施し精選することで正しく、よりわかりやすいものへと修正した。また医療機関での対応例についても新たに追加した。

【結論】本研究の目的に沿った教育教材を開発し、概ね肯定的な評価を得た。評価から修正を行い、修正版の映像教育教材を作成した。今後臨床現場で医療や看護を提供する際のケア指針となる可能性や、看護職だけでなく、看護学生や医療従事者全般への使用についての可能性も示唆された。